

国立特殊教育総合研究所研究紀要 目次

第15巻（昭和63年2月）

（原 著）

- ・動きの乏しい重度・重複障害児の移動に関する一考察 —係わり手に要請される条件に視点をおいて— 松田直 1—9
- ・盲児の語の音節に対する自覚と点字の習得との関連 —特に、長音、促音、拗音、拗長音について— 大城英名 11—18
- ・遊戯的語音聴力検査法の開発に関する検討—親族名称単語リストの研究— 大沼直紀 19—24
- ・脳性まひ児の視空間認知—空間配置課題による検討— 渡辺章・山下皓三 25—36
- ・重複障害児の聴力検査と教育の諸問題—15年の臨床経験からの考察— 菅原廣一 37—44
- ・障害児用健康管理システムの作成 斎藤美麿・永峯博 45—50
- ・言語障害児の母音特性を考慮した訓練ソフトウェアプログラムの開発研究 —I. データベース構築用プログラムセットの作成— 魚住超 51—58
- ・重複障害児の事例研究についての一考察—記号論的展開の試み— 落合俊郎 59—66
- ・ダウン症児の言語形成に関する記号論的考察 山片正昭 67—74
- ・教育相談における「かかわり」成立の基本構造（I I） —相談の「主訴」と「かかわり」の様相— 滝坂信一 75—83
- ・般化模倣とルール支配行動への一考察—障害児臨床への寄与と今後の論点— 太田俊己・加藤元繁 85—94
- ・音声発信時における状況特性と行動調整について —音声言語信号系活動に滞りを示す吃音事例について— 藤島省太 95—102
- ・自閉症児の保存概念の形成に関する一考察 寺山千代子 103—111
- ・自閉を伴う精神薄弱児の言語理解に関する研究 —集団場面における言語指示に対する反応特性— 近藤明子 113—121
- ・弱視児の学習効率性に関する研究—学習指導の形態と教科学習の効率性について— 千田耕基 123—130